

2016年12月2日  
京成電鉄株式会社

## さらなる輸送の安全確保のために 京成全線でデジタルATS 「C-ATS」の整備が完了します 12月10日(土)より、千原線で導入

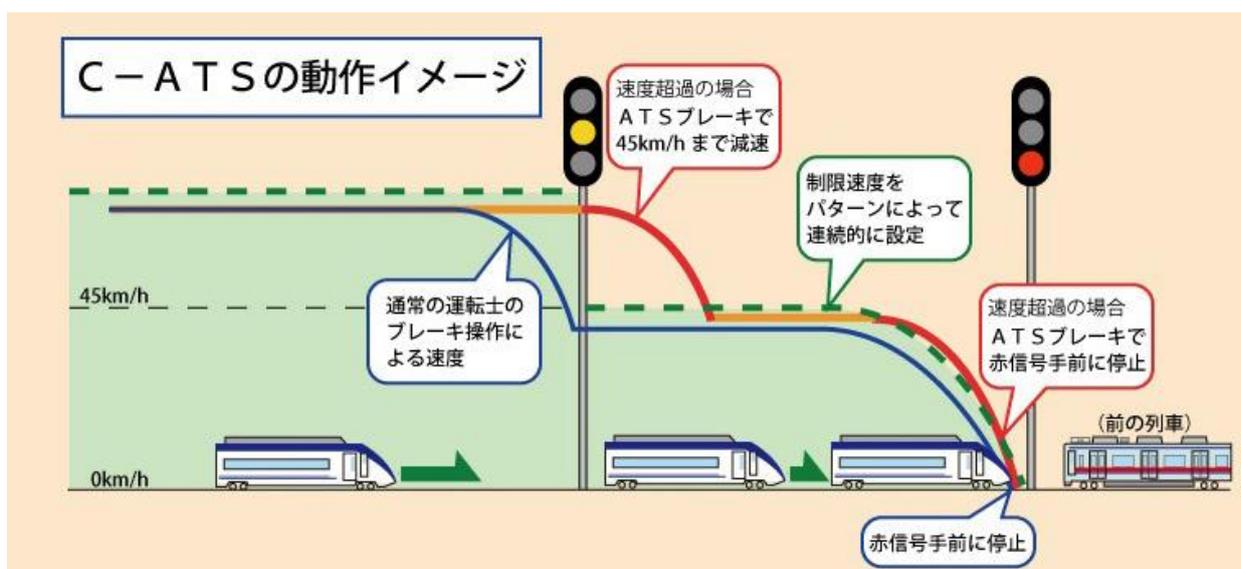
京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、12月10日（土）始発より、千原線（千葉中央～ちはら台）に保安度の高いデジタルATS「C-ATS」を導入し、京成全線での整備が完了します。

「C-ATS」は、それぞれの信号区間に合わせたより細かい速度照査（スピードチェック）が可能になり、信号区間内を連続的に制御することができます。また、急曲線区間や分岐区間（ポイント）、線路終端部などでの速度制限にも対応するほか、駅誤通過時の踏切防護機能を有しており、従来のATSよりも保安度がさらに向上します。

京成電鉄では、2008年度より従来のATSをデジタルATSに順次更新して参りましたが、このたびの千原線への導入で全線での整備が完了します。

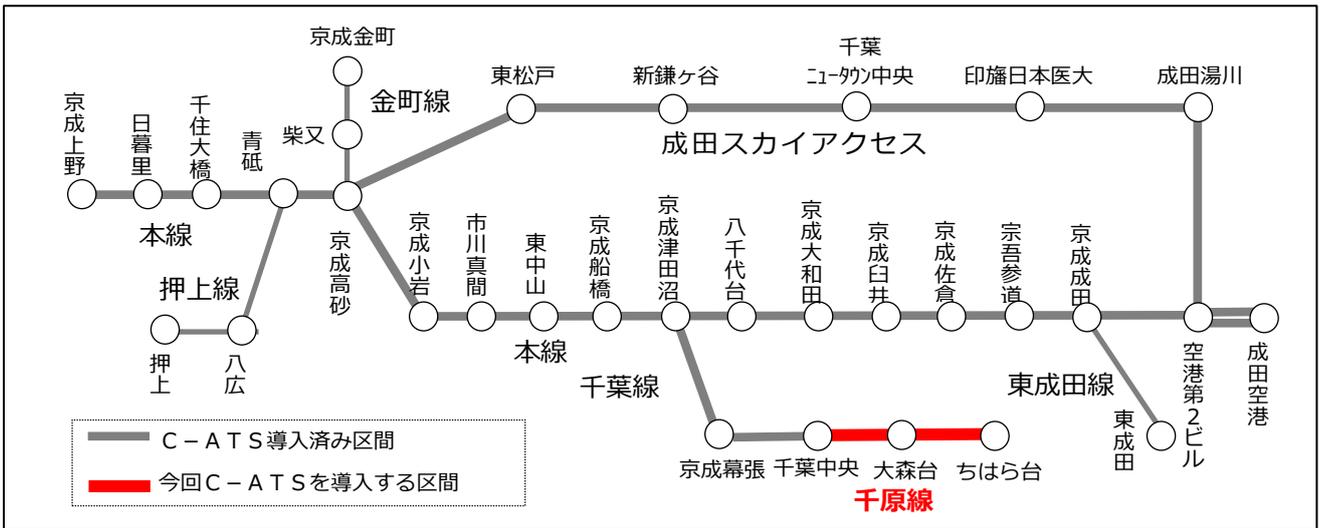
京成電鉄は、これからも安心してご利用いただける鉄道を目指し、輸送の安全確保に努めて参ります。

「C-ATS」導入の概要は次頁のとおりです。



「C-A T S」の導入について

1. 導入設備 C-A T S
2. 導入日 2016年12月10日（土）始発時
3. 導入箇所 千原線（千葉中央～ちはら台）



以上

【参考：A T Sについて】

列車を「安全・正確・迅速」に運行するための装置の一種で、自動列車停止装置 (Automatic Train Stop) の略称です。

運転士の失念や錯覚などの人的要因、濃霧や吹雪などの自然的要因により、信号機が示す条件（例：赤⇒停止など）に合った運転操作をしていない列車に対して、運転士への警報とともに列車を自動的に停止または減速させ、未然に事故を防止するバックアップ装置です。

今回、全線への導入が完了する「C-A T S」では従来のもものよりも細かく列車の速度制御が可能になるため、保安度が一層向上します。